

パン、菓子製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	23～24	加熱調理室にて、二重釜作業の使用目処が立った為、周囲の床をお湯と洗剤を使用し、清掃を行っていた際、本人が散布した洗剤に誤って足を滑らせ、一度は洗剤専用ラックに手をかけ右足を踏みとどまったものの、支えていたラックも倒れてしまい、転倒し被災した。	35～299	100
1	16～17	エアイン包装別ラインで、生産後の掃除時に集塵機周りの掃除をしようとして足を滑らせ転倒し、臀部を強打した。	48～299	100
1	11～12	当社工場内を小走りで移動していたところ、バランスを崩して転倒し負傷した。	58～49	30～
1	12～13	工場内の市販パン包装室にて作業中、作業台の上に置かれている、その日の作業内容が記された製造指示書の内容を確認するため、急いで作業台に近づいたところ、足を滑らせて体勢が崩れ仰向けに横転し、左体側・腰部・臀部・大腿部を床に強打し、大腿骨頸部を骨折した。	54～299	100
2	15～16	不良品を廃棄袋に移しに行き、持ち場に戻る際、急ぎ足で戻り、また湿った床のことを失念し、左足でビニールを踏んでしまい、転倒した	26～299	100
2	10～11	工場1階商品課において、商品を取り上げる作業中に床が濡れていたためバランスを崩し裁断機の支柱に右手を強打し打撲した。	52	50～99
2	18～19	生地工場内で抜型を乾燥機内へ運ぶ作業をしていた。両手で肩を持った状態で足を引っ掛けた。その際に前のめりで倒れ、右手の上に肩が落ちて負傷した。	19～299	100

2	17~18	被災者は和菓子課の包装場にて桜餅の不足分30個のラベル貼り作業をしていた際、製品ケースの外側表面に汚れが付着していることに気付いた。そして、その汚れを拭き取ろうとしたが、手元にアルコールスプレーがなかった為、隣のラインのアルコールスプレーを取りに行こうと振り返った時に足元にあった台車に右足をとられて後方に転倒し被災した。 ※ラインは停止していた為、本人は焦ってはいなかった。 また台車は誰かが放置したものであった。	61	500 ~ 999
3	13~14	出勤後、作業現場へ向かう途中で3Fのトイレに入ったところ、清掃中で床が濡れていたため、滑って背中から転倒した。	62	100 ~ 299
3	0~1	工場内でバット（容器）を冷凍庫に運んでいるとき、足を滑らせて転倒し被災した。	55	500 ~ 999
3	19~20	箱洗い場にて、洗浄前レーンに載っていた進みの悪い箱を後ろ側から押すために移動しようとしたが、レーン右横が箱で埋まっており、担当者の動線が確保されていなかったため、レーン間の通路から箱を押そうと移動し、足を踏み外して転倒し、左足甲の骨にひびが入った。	56	100 ~ 299
3	18~19	野菜処理室で、野菜を倉庫から野菜洗浄室に運んでいた際、清掃のため排水溝の蓋が取り除かれていたのに気付かず、右足が排水溝に落ち、体のバランスを崩し右膝を捻挫した。	51	300 ~ 499
3	18~19	工場内にて、正常終了時に床の掃除をエアガンで行っていた時、掃き集めた粉塵の上で足がすべり、転倒した際に受け身の体勢で左手を床につき、手首を骨折した。	64	30~ 49
3	10~11	工場内を歩いていたところ、流し台付近に落ちていた跳水に足を滑らせバランスを崩し、転倒を防ごうと右手を床につき、右手首を負傷した。	46	50~ 99
4	17~18	工場内、洗浄済み番重室に置いてある番重の蓋を取りに行く際、誤って足を滑らせ転倒し、左手を床につき、左手首を骨折した。	53	50~ 99
	16~	ホテル施設内19Fの洗い場において、シンク内のゴミ受けのゴミを処理中に、ゴ		100

4	17	ミ受けの金具に接触して左親指付近を裂傷した。	58	～ 299
4	10～ 11	アイスクリームの製造工場において、積み重なっているダンボールを取り出してフタを開け、凍った生クリームをとりだそうとしたところ、左足を滑らせ倒れ込み、ダンボールの角に左脇腹を強く打ちつけ、第九胸椎圧迫骨折した。	65	～ 299
5	11～ 12	工場2階原料投入作業場で、原料を検品台に投入作業中に腰を捻ってバランスを崩し、ポテトチップの油で床が滑りやすい状態であった為、足に力が入らず、転倒してしまった。	69	—
5	2～3	当工場2階のシュークリーム包装場にて、1号包装機から2号包装機に移動する際、早足だったので濡れていた床面に足を取られて転倒し、尻もちをつき、仙骨を骨折した。近くで洗い物をしていた際に床面に飛んだ水はねをモップで拭き上げた直後であり、完全に床面が乾いていなかった。	35	～ 500 999
5	11～ 12	1階の惣菜フライヤー室での作業終了後、残った材料を戻すため、1階二次加工の冷蔵庫に行き、原料を格納後、惣菜フライヤー室に戻る時、足元に台車があるのに気付かずに、その台車に躓き顔面から転倒した。その際に前歯2本を折り、床に手をついた時に左手首も打撲した。	66	～ 50 99
5	2～3	惣菜開梱室から惣菜フライヤーへキャスターを1台、右手に持って運んでいた際に足が滑り、右手側が下になるように横向きに転倒した。	65	～ 100 299
5	23～ 24	被災労働者が一次加工室冷蔵庫へ原料を戻すため冷蔵庫へ入った際、入口床が結露で濡れており、その床で足を滑らせ転倒し負傷した。	29	～ 100 299
6	11～ 12	工場冷凍ラインの冷凍庫内にて、製品固定の為に巻くラップを持ちながら歩行していた際に、冷凍庫内の床が滑りやすい状態であったことと、冷凍庫用の長靴が滑りを防ぐことが出来ないものであった為、足が滑って転倒し、右大腿部を冷凍庫床に強打して骨折してしまった。	50	～ 500 999
	13～	スーパーマーケットの特設売り場へ急いでパンを運ぶ途中、入り口付近のタイル		10～

6	14	が雨の影響で濡れていたため、滑って転倒してしまいました。その際、ついた右手首を骨折してしまいました。	52	29
6	14~ 15	工場内にて、生産ラインの清掃作業で出た製品ロス（0.9kg）を左手に持って移動していた。その際に足を滑らせて転倒し、右手首を負傷した。	57	500 ~ 999
7	14~15	お客様情報センター2階事務室でデスクワーク中、急いで2m程離れたコピー機に近づこうとし立ち上がった際、机の内側か椅子のアームに足を取られた。足を動かすことが出来ない状態になり、気持ちだけが前に行きそのまま床に直接頭部を強打し、打撲裂傷及び視神経炎症の怪我を負った。	64	300 ~ 499
7	11~12	マキシコンオイルを保管していた場所から製造場所へ移動したところ、マキシコンオイルが置いてあった保管場が、マキシコンオイルの油で床が滑りやすくなっていたため、清掃しようと洗浄室へバケツを取りにゆっくり歩いていた際に、床が滑って左肩と腰を打った。	34	—
7	11~12	別作業者が、マキシコンオイルを狭い通路から無理に入れようとした際に、マキシコンオイルの口をカバーしていたビニールが破れ、オイルコックが外れてマキシコンオイルが床にこぼれてしまった。清掃を手伝っていた際に、モップの水切りバケツを右手に持ち歩いていた時に滑り転倒し、背中から倒れ右後頭部と右腰を打った。	21	—
7	0~1	V4ラインにて耳生地コンベアーの生地を処理するため餡鉢を台車に乗せ通路を通行していた時、直前に豪雨があり雨もりが発生し床面が濡れていたため転倒しそうになり、回避しようと踏ん張ったが転倒し右足を負傷した。	53	300 ~ 499
7	23~ 24	洗浄室で寸胴を洗浄して、充填機を避けて回り込むように歩いたときに、普段通らない場所を歩き、床が滑り転倒し、右腰から落ちた。転倒時、充填機に接触しないように無意識に体をひねり、変な転び方をした。	52	100 ~ 299
7	0~1	菓子パン製造ラインの焼成場を歩いていたとき、作業用用のスポットクーラーの電源コードに足を引っ掛けて転倒し、床に右膝を打ちつけて被災した。	60	1000 ~ 9999

7	4~5	被災者は、作業終了後に機械を清掃していた。機械の別の場所を清掃しようと移動したとき、濡れた床面で足を滑らせ転倒し、頭部を床の水よけガイドに打ちつけて被災した。	51	~ 9999	1000
7	18~ 19	包装場において、アルコールを噴霧する製品があるため、包装機の下に溜まったアルコールバケツを交換しようとし、他の作業者がこぼしてしまい、先にバケツに溜まったアルコールを捨てに行っている間に、被災者が通りかかり、足を滑らせて被災した。	56	~ 9999	1000
9	20~ 21	屋外に設置された制御盤に向かう途中の通路で雨により床が濡れていた為、足を滑らせ転倒した。その際、左手を床に打ち付け左手首を損傷した。	47	~ 999	500
9	5~6	清掃時に使うエアースーツが床をはっている所を通る際に、踏みつけて転倒した。	57	~ 299	100
9	23~ 24	出勤前、構内歩道を歩行中、街灯もなく足元が見えづらくなっていたため、道路に凹みがあるのに気づかず、足を引っかけて転倒、その際、左足首をひねり、左足首腓骨骨折と診断された。	53	~ 299	100
9	21~ 22	オーブンから焼き上がって出てきた製品に、つや出しコート液が塗れていなかった為、コート塗り機の状況を確認する為に機械の方へ歩いて足早に移動している時に右足を捻った、当日は大した事がないと思い、報告せずに帰宅し、シップをしていた、その後2日間勤務した後の休日に大きな足の痛みを感じ、病院にて受診したところ、骨折であることが判明した。	49	~ 499	300
9	4~5	清掃作業中に、他の作業者の後ろを通ろうとした際に、通常は柵が置いてあるスペースに柵がなかったため、空いているスペースに足を踏み込んだところ、足を滑らせ転倒し、頭を強打した。	42	~ 299	100
10	11~ 12	菓子包装室で作業中に包材を取りに保管場所に向かう途中、作業中の方の足に引っ掛かり、前のめりに四つん這いの体勢で転倒。その際、両手と両膝を強打し、膝が腫れてきた。	68	~ 99	50~

10	13~ 14	団体でご来訪のお客様を台風前の強雨の中、民家から売場に案内したとき、お客様から代表商品「あも」の山積み陳列の最上部にカメムシがいるとの指摘があり、急ぎバックヤードからキッチンペーパーを持って売場へ戻るときに出口のケーブルカバーで滑り商品保管棚で左背中を強打し、肋骨を骨折したものを。	51	100 ~ 299
11	7~8	自転車で出勤した際、店舗敷地内駐車場に張っていたロープに気付かず、引っ掛かって転倒してしまい、左肋骨を骨折した。	56	300 ~ 499
11	1~2	工場菓子製造課ミルクレープラインにおいて、被災者が作業で使うヘラを取りに急ぎ足で歩き角を曲がったところ、左足を滑らせ転倒してしまった。その際、その場にあったゴミ箱に左脇腹をぶつけてしまい負傷した。	58	500 ~ 999
11	9~ 10	パンコーナーにて品出し中に反対側の棚にも品出しをしようとして、振り返った際に、近くに置かれていたパン箱に躓き転倒し負傷した。	66	500 ~ 999
11	10~ 11	1Bコーフル焼成室通路で、休憩室から職場に戻ろうと歩行中、角を曲がったところで踵が滑り仰向けに転倒した。お菓子の粉で床が滑り易い状態だった。転倒した際、左手を床につきその衝撃で左肩を負傷した。	50	100 ~ 299
11	21~ 22	洋菓子仕上げ室で担当場所を変わろうと移動中、床が手袋消毒用塩素水で濡れていることに気付かず右足が滑り、転倒しないよう右手を床に着いた時、右手首を骨折した。	50	100 ~ 299
12	13~14	お昼の休憩後、休憩室入り口にて靴の履き替えをしようとした時、誤って転倒した。段差はなく、滑る場所ではなかった。	59	30~ 49
12	2~3	製造現場のスポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具が入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくりと転倒した（両肘と両膝で四つん這いの格好）。長靴の靴底の滑り止めがすりへり、ツルツルの状態であった。	47	300 ~ 499
12	18~19	店舗営業時間終了後、残った商品を指定された製造工場内の冷蔵庫に入れるため、工場内を歩行していた際、工場内清掃中の現場が、モップによる拭き清掃の	56	30~ 49

		ため表面が濡れていたため、滑って転倒し、左腕を床に打ちつけた。		
12	8~9	商品切り替え清掃時に、急いでいたために現場内を走り、管理板を支える部分に躓いて転倒し、左膝を打ち負傷した。	51	1000 ~ 9999
12	17~18	工場1階仕分け場で、商品の小仕分け作業中、各店舗のパン箱にパンを配り終えた際、空になった箱3箱を押していたとき、床の継ぎ目の段差に箱が引っかかり、前のめりに転倒し、左手首を骨折した。	66	300 ~ 499
12	7~8	作業中、トイレに行きたくて急いでいたところ、出入り口付近の床が濡れていたため滑って転倒し、慌てて左手をついたが、左手も滑り、左肩を強打し負傷した。	48	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html